

米国株式市場見通し

4-6月期決算が示す情報技術セクターの魅力(1/2)

概要

- 強気相場に回帰した7月の米国株式市場はIT(情報技術)セクターがけん引。概ね予想を上回る米企業4-6月期決算のなかでも、特にITセクターのファンダメンタルズの強さが際立つ
- 7月のベストパフォーマーとなった半導体セクターは、IoT時代を見据えた業界勢力図の移り変わりを示唆
- 4大プラットフォーマー”GAFA”(Google-Apple-Facebook-Amazon)の好決算が市場センチメントを改善

強気相場に回帰した米国株式市場をけん引するITセクター

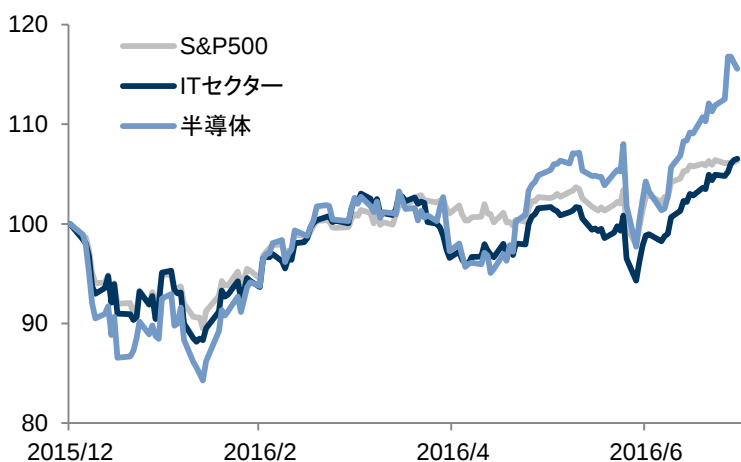
米株高をけん引したテクノロジー株

2016年7月の米国株式市場は、前月のBrexit後の混乱から落ち着きを取り戻し、米雇用統計をはじめ堅調なマクロ経済指標が相次いだことや、米国企業の4-6月期決算が概ね予想を上回る内容となったことで、史上最高値を更新する強気相場に回帰しました。

特に4-6月期決算では、エネルギー・セクターで市況安による失望決算が散見された一方、ITやヘルスケア・セクターではポジティブ・サプライズが相次ぐ形となりました。中でも、アップル、アルファベット、フェイスブックなど代表的企業の決算が軒並み好調だったことから、年初来で出遅れていたITセクターは大きく上昇しました。

S&P500指数の中分類24業種ベースで7月の騰落率ランキングを見ると、1-3位を全てITセクターが独占しました。

ITセクター、半導体、S&P500指数の推移



出所: ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
ITセクター: S&P500 ITセクター指数、半導体: フィラデルフィア半導体指数
期間: 2015年12月31日～2016年7月29日

IT業界の新潮流 スマホからクルマへ、IoT時代を見据え、半導体業界の地殻変動進むー

大型M&Aと好決算により半導体関連株が急伸

7月18日、ソフトバンクが英半導体設計会社ARMホールディングスを240億ポンド(約3.3兆円)の巨額買収で合意し、半導体業界の再編期待が急速に高まりました。続く26日には、米半導体大手アナログ・デバイスが同業のリニア・テクノロジーと148億ドル(約1.5兆円)の買収で合意したと伝わり、関連銘柄が急伸しました。

4-6月期決算では、NXPセミコンダクターズやテキサス・インスツルメンツなど車載向けに強い半導体大手や、通信向け半導体大手クアルコムなどが市場予想を上回る好決算を発表し、幅広い半導体関連株が上昇しました。

米国株式(2016年7月) 中分類24業種 騰落率ランキング

半導体・半導体製造装置	9.8%
テクノロジー・ハードウェア及び機器	8.2%
ソフトウェア・サービス	7.2%
自動車・自動車部品	6.6%
小売	6.4%
医薬品・バイオテクノロジー	6.1%

出所: ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
S&P500中分類24産業グループ 期間: 2016年6月30日～2016年7月29日

米国株式市場見通し

4-6月期決算が示す情報技術セクターの魅力(2/2)

IoT時代に入り、移り替わる業界勢力図

近年の半導体産業にとって大きなドライバーであったスマホが成長期から成熟期に移ってきました。代わってIoTが台頭するなか、自動車や一般産業等がネットワークに繋がる時代に移りつつあります。このことは、半導体産業にとっても大きなゲームチェンジャーとなると見られています。PCからスマートフォン時代にデジタル半導体は飛躍的に拡大しましたが、IoT時代にはメカニク技術とデジタルの融合が求められるなか、アナログ半導体に対する需要増大が予想されています。

今回、好決算を発表したテキサス・インスツルメンツやNXPセミコンダクターズは、長期的にも良好な事業ポジションにあると言えます。IoT時代が本格化し、主な半導体ユーザーがスマホからクルマへと移り変わるなか、両社の成長性はより確度が高くなってきていると言えます。

車載向け半導体売上 上位5社 (2015年)

	社名	売上高(億ドル)	シェア
1	NXPセミコンダクター	41.8	14.4%
2	インフィニオン	28.5	9.8%
3	ルネサス・エレクトロニクス	26.7	9.2%
4	STマイクロ	21.0	7.2%
5	テキサス・インスツルメンツ	18.7	6.4%

出所: IHS

アナログ半導体売上 上位5社 (2015年)

	社名	売上高(億ドル)	シェア
1	テキサス・インスツルメンツ	83.4	18%
2	インフィニオン	28.9	6%
3	スカイワークス・ソリューションズ	27.0	6%
4	アナログ・デバイシス	26.7	6%
5	STマイクロ	24.7	5%

出所: IC Insights

勝者はますます強くなる —4大プラットフォーム— “GAFA(ガーファ)” の伸長—

ITの巨頭 4大プラットフォームGAFA(Google-Apple-Facebook-Amazon)も好調な決算

最近、ネット空間を支配するプラットフォーム企業の代表格として、グーグル(アルファベット)、アップル、フェイスブックおよびアマゾンの4強の頭文字を並べ、“GAFA”と呼ぶ頭字語が使われ始めました。今4-6月期決算では、この4社が軒並み好決算を発表し、ITセクターのみならず米国株式市場全体のセンチメントを改善させました。

アップル —短期的な収益モメンタムの底入れ確認—

アップルは、過去2四半期ネガティブ・サプライズ決算が続いたため幾分警戒感もあったところ、26日発表の4-6月期決算はポジティブ・サプライズとなり、株価は大きく上昇しました。旧機種種の流通在庫が大きく減少し、7-9月期ギャダンスが市場予想を上回るなど、四半期ベースの売上見通しの底入れが確認されました。また、低価格版iPhone SEの売上増加にもかかわらず、粗利率が市場予想を上回ったことが市場に安心感を与えました。

アルファベット(旧グーグル)、フェイスブック、アマゾン —増収ペース加速—

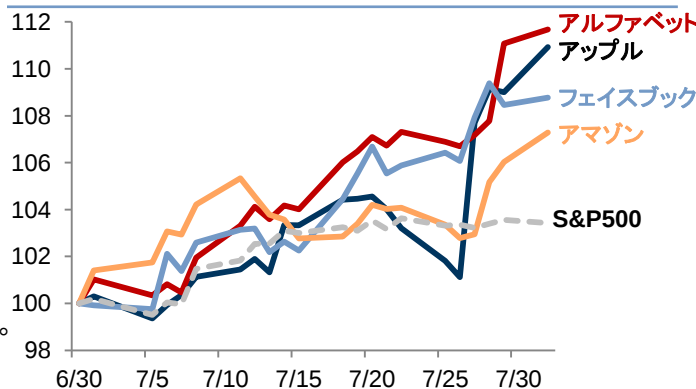
アルファベットは、売上利益ともに市場予想を上回る力強い決算で、モバイル広告へのシフトが利益率を押し上げ、YouTubeの高成長もモメンタム加速に貢献しました。

フェイスブックも、モバイル広告の拡大を背景に前年比+63%増収となり、事前の高い期待値を上回る好決算でした。特にユーザー当たり滞在時間が2桁%増加したことや、InstagramやMessengerの順調な成長も好感されました。

オンライン広告市場における両社の寡占化はますます加速しており、TV雑誌等の伝統的媒体からオンラインへのシフトの恩恵を、両社は最大限に享受できる立場にあります。

また、アマゾンも市場予想を上回る好決算で、注目のクラウド事業AWSは58%増収、同事業の利益率は前年比8%超も上昇するなど、全社の業績に大きく貢献しました。

GAFAの株価推移 (2016年6月30日～8月1日)



出所: ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
期間: 2016年6月30日～2016年8月1日
(2016年6月30日の株価を100として指数化) 米ドルベース

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)(が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保障するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。© 2016 Goldman Sachs. All rights reserved. <60496-OTU-334578>